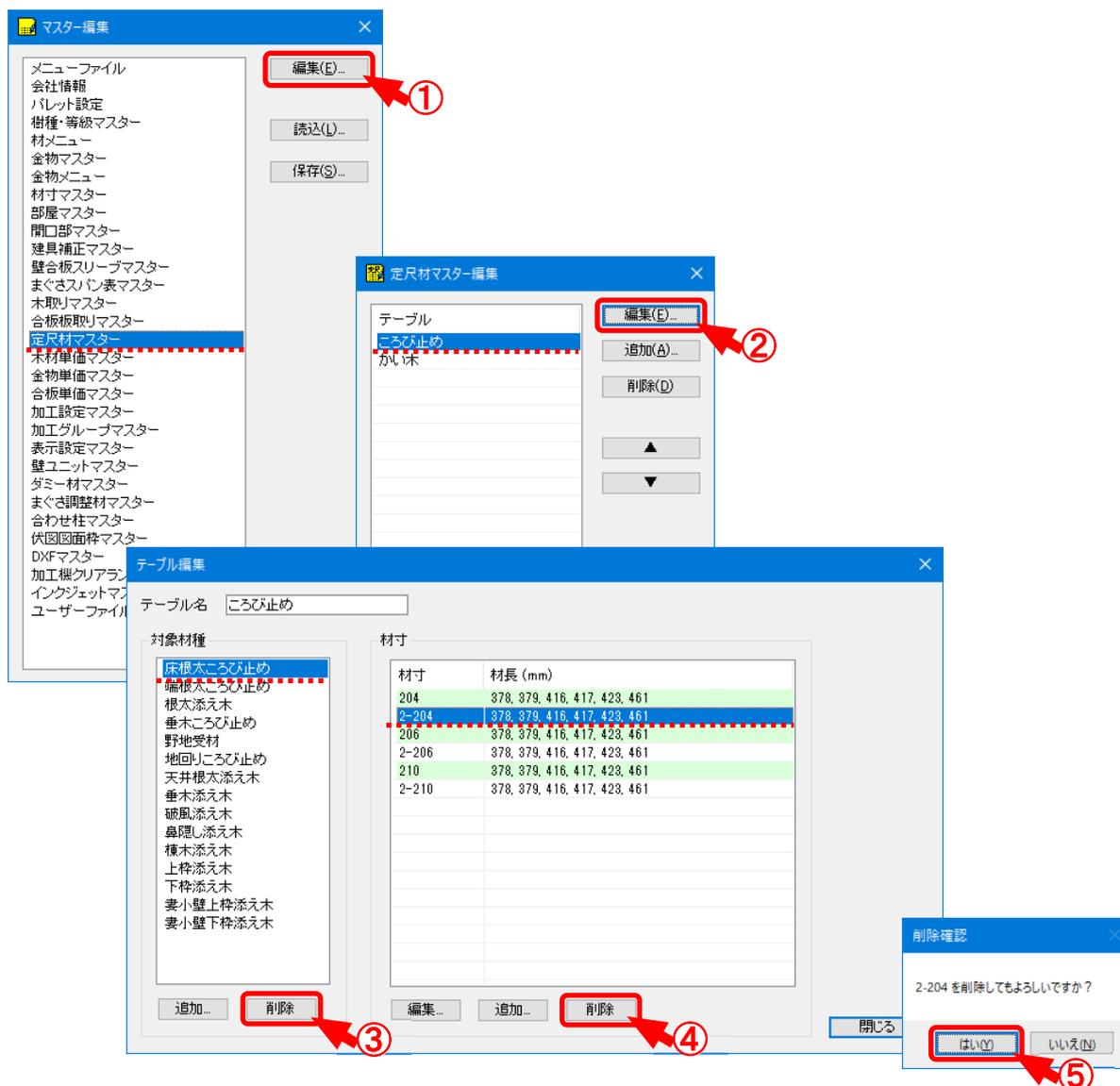


## 補助—マスター編集—定尺材マスター



マスター編集／定尺材マスターでは、定尺材とする材種を登録し、材寸、材長を設定します。

- ① 〔補助—マスター編集〕の「定尺材マスター」を選択し、「編集」をクリックします。
- ② 「定尺材マスター編集」の画面が表示されます。  
テーブルを選択し、「編集」をクリックします。
- ③ 「テーブル編集」の画面が表示されます。  
対象材種を削除する場合は、要素を選択し、「削除」をクリックします。



定尺材として登録された材は、材番号が付かず、加工データには出力されません。

---

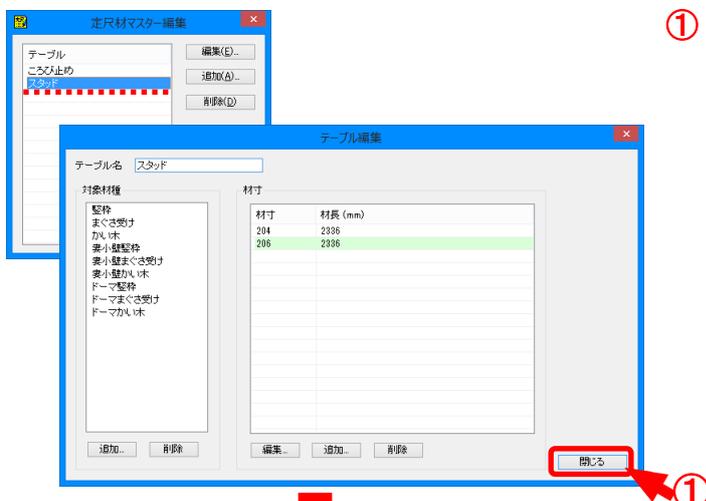
## 補助—マスター編集—一定尺材マスター

---

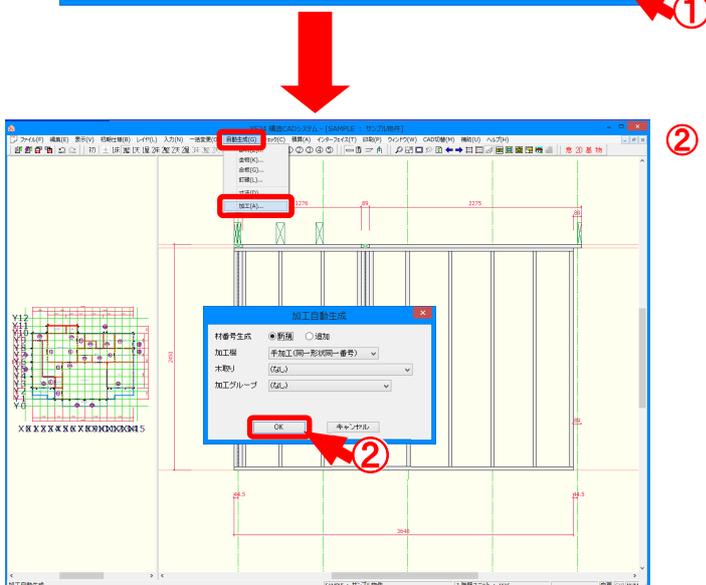
- ④ 設定した材寸のみを削除する場合は、対象材種を選択後、削除する材寸をクリックします。  
材寸を選択後、「削除」をクリックします。
- ⑤ 「削除確認」の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

補助—マスター編集—定尺材マスター

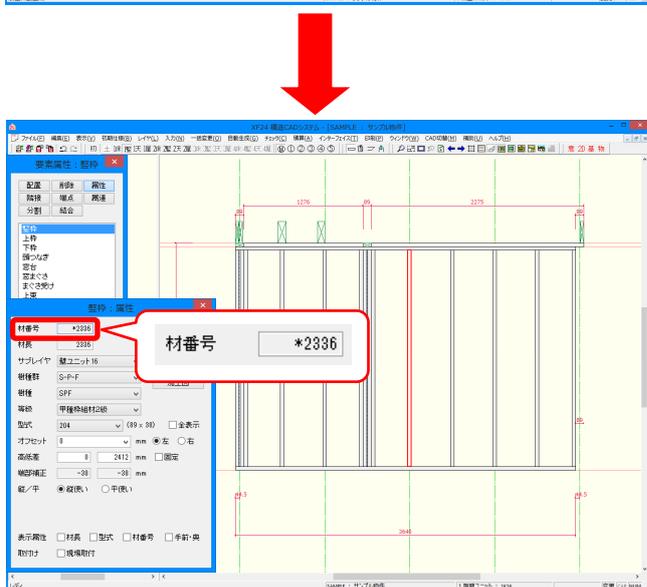
＜定尺材番号について＞



① [補助—マスター編集]の「定尺材マスター」で定尺材を設定します。



② [自動生成—加工]で加工生成を実行します。



③ 定尺材に設定した材は、材番号が生成されず、加工データにも出力されません。材の「属性」を確認すると、「材番号」が「\*材長」で表示されます。